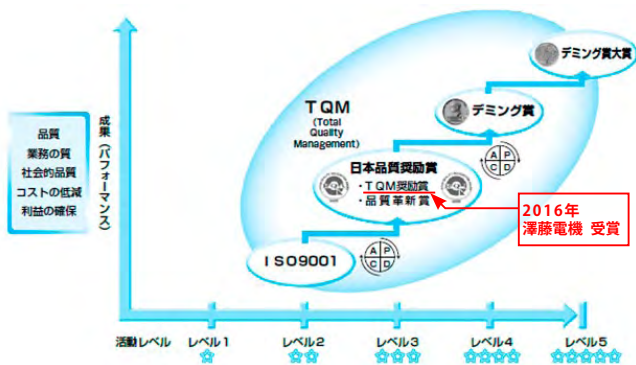


特集 『日本品質奨励賞 TQM 奨励賞』受賞

澤藤電機は、お客様に満足される品質の製品を作り、その品質を維持・改善していくこと、また経営における品質最優先の徹底、企画・開発から販売・サービスに至る全社品質保証活動を行うためにTQM (Total Quality Management) を導入し、全員参加による改善活動を進めています。

このたび、これまでの活動が認められ、『2016年度 日本品質奨励賞 TQM 奨励賞』を受賞しました。2016年11月9日、経団連会館において開催された授賞式には、吉川社長をはじめ、役員・部長計32名が出席しました。吉川社長に賞状、内野専務に盾が贈られた後、社長による受賞者挨拶が行われました。



出典：一般財団法人日本科学技術連盟
「日本品質奨励賞のしおり 2016年度版」(一部抜粋)

【TQM 奨励賞】

厳しい国際競争に勝ち抜く優れた企業を輩出することを狙いとして、一般財団法人日本科学技術連盟によって2000年に創設された。

ISO9001規格によるマネジメント・システムより1ランク上の活動レベルを実践し、その活動を通して実質的な成果を上げている組織を表彰する。

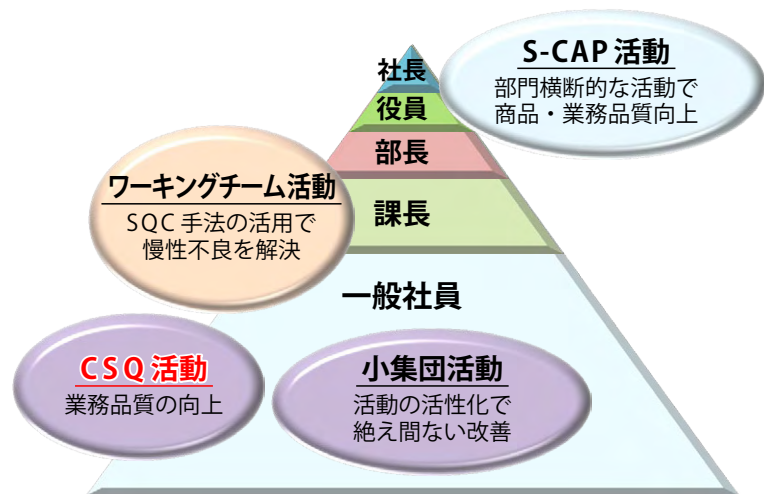
経営品質・製品品質の向上に向けた取り組み

経営品質の向上を目指し、全役員・全部課長を対象に、外部の専門家によるTQM 指導会を毎月開催しています。方針管理や標準化などTQM 手法を学んでいます。

また、QC 的ものの見方・考え方を習得することを目的として、2013年度より『品質管理検定(QC 検定)』の取得推進活動を行っています。社内セミナーや検定対策講座、パソコンを使用したeラーニングなど、さまざまな取り組みを行っており、QC 検定資格は全社員の1/3が取得しています。今後も、この活動を積極的に推進していきます。

全員参加による改善活動

澤藤電機の改善活動は、社長をはじめとした役員、部長、課長、そして一般社員まで、全員参加で行われています。改善活動には、役員・部長を中心とした『S-CAP活動』、部長から一般社員が取り組む『ワーキングチーム活動』、そして、一般社員が中心となって推進している『小集団活動』と『CSQ活動』などがあります。それぞれの活動の中で、商品品質や業務品質の向上を目指し全員参加の改善を推進しています。



全員参加の活動で、商品品質・業務品質の向上を図る

S-CAP 活動

Sawafuji Cross Functional Advanced Project

全役員・部門の意思統一による
生産準備日程の短縮活動



ワーキングチーム活動

有識者の知恵を活用しSQC手法を
積極的に取り入れた品質改善活動



CSQ 活動

Change Sawafuji Quality

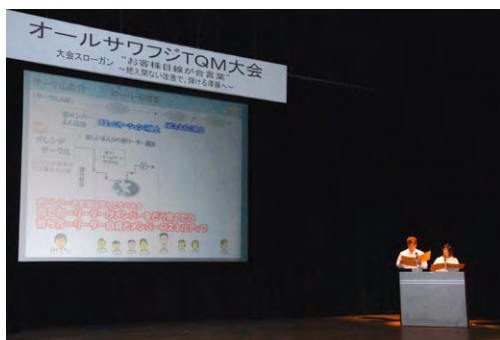
全部門の品質向上を目指した
短期的活動



小集団活動

澤藤電機は、QCサークル活動を「サワフジ小集団活動」と称し、問題解決の基礎作り、人財(材)育成の場として活動しています。2017年度のサークル数は直接部門29サークル、間接・準間接部門33サークルの計62サークルです。定例発表会や全社大会(1回/年)の実施、群馬県の地区大会から納入先の大会まで選抜されたサークルが出場するなどして相互啓発に努めています。

また、社内改善事例パネル展示会なども実施し改善意識向上を図っています。



オールサワフジTQM大会



改善事例パネル展示会

トピックス

新技術 岐阜大学と澤藤電機の共同開発成果をプレス発表

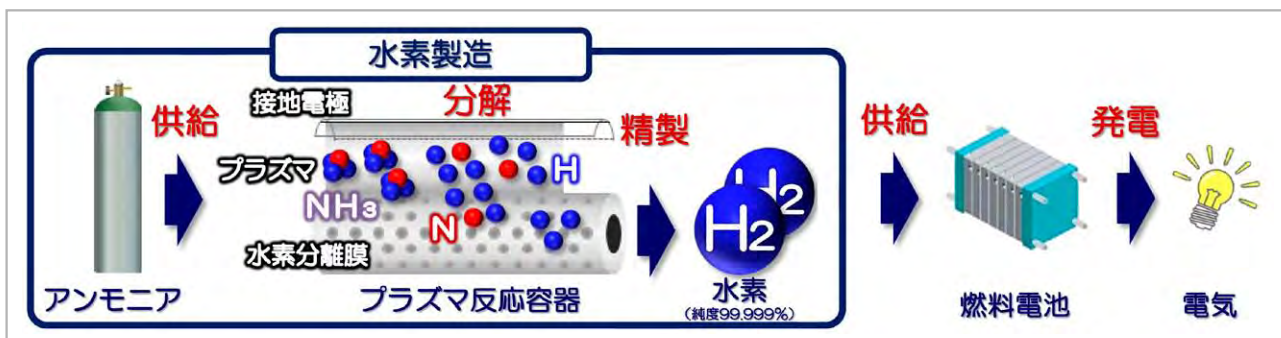
2017年3月21日 岐阜大学にて、岐阜大学と澤藤電機の共同開発成果について、岐阜大学 森脇学長、福士理事、神原教授、澤藤電機 吉川社長でプレス発表を行いました。

共同開発のテーマは、「アンモニアを原料とする低コストの燃料電池用水素製造装置の開発」です。アンモニアから水素を取り出すこの技術により、必要なときに必要な場所で水素を供給することができるようになり、産業用・家庭用燃料電池発電機、燃料電池自動車などへの普及が期待されます。



プレス発表の様子

【アンモニアを原料とする低コストの燃料電池用水素製造装置の概略図】



ステークホルダーとの対話

澤藤電機では、お客様、地域社会、株主・投資家様、代理店・特約店様、仕入先様、社員などさまざまなステークホルダーとの対話を重視したCSR経営を推進しています。

地域住民との対話

地域社会と会社との関係を良好に保ち、かつ会社に対する理解を深めていただくために、近隣の地区役員の方々と情報交換会を定期的実施し、近隣からのご要望、ご意見に対して迅速に対応できるよう連携をとっています。



地区役員の方々と情報交換会(2017年6月15日)

福祉施設の皆様との交流

地域社会との交流を深めるため、会社と労働組合が合同で近隣の福祉施設の方々を招いて軽スポーツやレクリエーションなどを行っています。2016年5月には、太田市新田エアリスアリーナで交流会を開催し、5福祉施設から103名が参加され、社員と一緒に楽しいひと時を過ごしました。



福祉施設の皆様との交流会(2016年5月25日)